

# 入善町立舟見公民館

(平成21年1月31日現在)

## ◆ 事業の目的

ふるさとを流れる舟川、舟見山を活用して、自然の中での体験活動を展開し、親子のふれあいをより深め、自然に親しみ、感謝する気持ちを育む。

## ◆ 事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
8月10日(日)	舟川で楽しむつどい	舟川リバーサイドパーク	87名
2月8日(日)	舟見山で遊ぼう	舟見山周辺	予定

## ◆ 事業の様子

### ☆ 舟川で親しむつどい

8月10日は好天に恵まれ、80余名の多くの参加を得て事業を実施しました。

地区を流れる舟川に集い、川の生き物を観察し、そしてイワナやニジマスなどのつかみ捕り、さらには捕った魚のさばき方や炭火で焼く方法などを親子が協力して体験することができました。

川の生き物の観察では、水生昆虫のトビケラをお父さんたちと子どもたちが競って探しました。プラナリアという体が切れても生きていく生き物に出会い、子どもたちも親も本気で驚きました。生命の不思議さを感じたことでしょう。

子どもたちの前で、お父さんがカジカを捕まえて見せ、「昔は、よく捕ったものだ」と自分の子ども時代の話をする姿がありました。

イワナ、ヤマメ、ニジマス、アユをつかみ捕りし、その魚体の違いを観察しながら、親子でさばいて焼き、命あるものをいただくという自分たちの責任について話しながら親子で食べました。この体験を通して、親子関係を深め、併せて自然の恵みに対する感謝の気持ちを感じ、何よりも川遊びのおもしろさを、子は知り親も思い出した夏休みのよい思い出づくりとなりました。



### ☆ 舟見山で遊ぼう

1月、2月と雪を利用して活動を計画していましたが、1月は積雪がなく中止になりました。2月8日の「舟見山で遊ぼう」をパワーアップして取り組む予定です。

## ◆ 事業の成果と課題

- ・ 人口の少ない舟見地区であるが、親子、祖父母までたくさんの方が集い楽しい1日となった。大人も川に入ることはなくなり、久しぶりに故郷の川を訪れたという方も多かった。
- ・ 魚を全て捌かせるかどうかで悩んだ。包丁をもたせること、魚を自分で捌くことの善し悪しについて、親の価値観の違いを感じた。親自身の生活体験、自然体験も課題である。